

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L <http://www.jaichi.jp>
Eメール info@jaichi.jp
TEL <052> 916-2251
FAX <052> 916-2308

2006.3.10
No.917

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

「小さな政府・自治体」を
住民の目から考えるシンポジウム

- 4月15日(土) PM1:30~
- 名古屋市教育館
(地下鉄「栄」下車⑩番出口)



エネルギーに活動する朝倉勝孝委員長(右)と田原桂太郎書記長(左)

「指定管理者制度」導入で

公社解散・職員解雇とたたかう

豊橋市駐車場公社 労働組合を結成

2月8日

06年4月から豊橋駅前の松葉公共駐車場の管理がこれまでの(財)豊橋市駐車場公社から民間企業に「指定」が変わります。これは「指定管理者制度」導入により12月市議会の決定をうけたもの。

これにより、3月31日公社解散、職員解雇となり「65歳まで安心して働ける職場」が急遽一変。死活問題であると、2月8日職員の過半数が参加して「豊橋市駐車場公社労働組合」を結成し、自治労連加入を決定しました。

公社と市は一方的解雇をやめて、誠実な対応を

仲間の生活を守る うと組合結成

昨年1月に公社側から指定管理者制度導入により駐車場管理が民間企業も参入する。そのため、競争に競り勝つために、職員の身分を正規から嘱託員にすることや一時金、退職金の見直しなどが提案されました。また、競争に敗れて指定管理者の選考から離れた場合は、公社は解散となり職員は解雇されるということが明らかにされました。しかも定年65歳まで数年残していながら、前倒しで退職を余儀なくされる

ことへの補償や補填などは全く考えられていないという状況で、職場の仲間の不安は一気にたかまりました。職場の仲間呼びかけ、公社や市長宛の要望書を有志で提出してきましたが、公社側は説明もしないまま過ぎて、指定管理者の選考からまれてしまい民間企業が指定されることになりました。さちんとした話し合いをするために労働組合を作ろうと呼びかけ40名近い職員の過半数が組合加入しての結成となりました。

円満解決のカギは 市が握っている！

(財)豊橋市駐車場公社の役員・管理職に市現役部長やOBなどが在籍。市が100%出資する公社の実質的経営責任は市がもっているといっても過言ではありません。組合は公社経営者と市を相手に2月16日、第1回目の団体交渉を行いました。

組合の重点要求、①公社は雇用責任を果たし、「解雇」に対する金銭的補償・補填のためあらゆる手立てを尽くせ。②豊橋市は公社

－元気がでる記念講演－

“合言葉は－ダメ元で
あたってみよう『一緒に』”

06年組織集会



津市職・竹内書記長(右上)の講演で元気が出ました！



若い役員中心に新入職員へ働きかけ 賃金・労働条件は組合が かちとってきたもの

愛知県本部の06年組織集会在2月25日、26日、グリーンホテル三ヶ根で開催されました。羽根委員長の開会あいさつ、梅野副委員長の基調報告に続き、千葉・君津市職の竹内敏昭書記長が「やつても駄目ではなく、『駄目元』で拡大できた超ラッキ―」と組織拡大・強化のとりくみについて講演。

新入職員への組合説明会は、「当局研修時間内で毎年5分、10分と時間を拡大させてきた」経験が語られました。若い役員を中心に「賃金や労働条件は、当局がくれたものではなく、組合がかちとってきた」ことを訴えるなかで毎年8～9割の加入者を迎えていることも説明されました。また、職場を基礎にした人員闘争は組合だからこそできると強調し、30年続いている組合ニュースが組合員をつなぐ媒体であり欠かせないことも明らかにされました。組合員の拡大はあきらめずにやることが大切であることが参加者の共感を呼びました。記念講演のあと、一宮(合併を通じて組織拡大、名古屋(自治労連共済で財政・組織強化へ)、犬山(新勸企画の準備)豊橋(指定管理者制度導入で新たな組合結成から実践報告。組織を強く大きくするための知恵と工夫をこらした実践報告がされました。

職員の生活と雇用を守る責任を明らかにし、組合要望を誠実に受け止めよ。③同じく非常勤職員の権利を尊重し、雇用・補償・慰労等に留意せよ。などを求めました。

した。これまでは「公社側は決まったことだから仕方がない」「市も公社がまず決めてほしい」とお互いに無責任な対応でしたが、労働組合との話し合いで追い



豊橋駅前(地下)など四ヶ所に職場があります

込もうとしています。
指定管理者制度の
犠牲を繰り返す
な！

「指定管理者制度は3年ごとに労働者の首切りを必ず招く制度であり、この矛盾と責任から市は解放されない」と怒りをあらわにする朝倉勝孝執行委員長。
「仲間の生活がかかっている。我々の生活と権利を守るたたかいとして、労働組合を作った。最後までがんばる」と決意を語ります。

